

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	7		1	13

前回の改善計画	
・職種に関わらず全職員が個々に意識して、積極的に利用者、家族との良好な関係構築を意識したコミュニケーションを実践する。その結果、利用者、家族の思いを汲み取り、安心して利用できるようなサービス提供へと繋げていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ケアマネジャーと共に担当職員も初期のアセスメントの段階から関わることで、早い段階から良好な関係構築はもちろん、利用者、家族の今後の生活への思いや意向を以前よりも意識して汲み取ることができた。但し、それ以外の職員については、送迎の際など関りが限定的になり、取組みとしてはやや不足だった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	7	1		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	7	1		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始連絡票やアセスメントシートから情報を得たほかに、職員間で情報共有するよう努めた。 ・慣れていない段階では訪問回数を増やすなど、サービスのボリュームを増やすことで配慮できた。 ・訪問の際や電話等のやり取りについて丁寧な対応を心掛け、安心感や話しやすい雰囲気意識して最初の印象を大事にした対応ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族との関りが担当以外は不足気味だと感じる。 ・その日の業務状況によっては、声かけや気遣い、配慮が不足だと感じることもある。 ・勤務して日が浅い職員については、業務を覚えることが先になり、本人や家族の思いに寄り添うことや、良好な関係構築までに至っていない場合もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者、家族が不安な気持ちなく安心して利用できるよう、全職員が個々に意識して積極的にコミュニケーションを図る。その結果、利用者、家族の思いを汲み取りその時々の状況にあったサービスの提供につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤（13名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	9	3		13

前回の改善計画  
 ・本人の目標「～したい」の把握に留まらず、ゴール（長期目標等）を知って支援にあたる。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ・アセスメントシート及びライフサポートプランから、ゴール（長期目標等）を確認することはできているが、ゴール（長期目標等）に結び付けるような関りや支援を全員が意識して行うまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	8	3		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	7	4		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	5		13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	5		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・担当利用者については、アセスメントやカンファレンスから関わることができているため、より意識した情報収集や把握に繋がっている。  
 ・アセスメントやライフサポートプランから目標を把握することができている。また、把握できていない場合でもそれらに記載があることを分かっているので都度確認することができている。  
 ・前回の計画を念頭にゴールを意識した関りが持てた。  
 ・意識して言動や行動、変化などを記録することで、全職員で共有することができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・どうしても担当以外の「本人の目標（ゴール）」が把握しきれない。  
 ・勤務して日が浅い職員については、業務優先となり把握まで至らなかった。  
 ・関わった内容を記録に残したり申し送ったりしているが、ミーティングでの発言や振り返りまではできていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ・本人の目標「～したい」の把握はもちろん、担当が主となり「～したい」を目指した日々の関わりを実践していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	7	2	13

前回の改善計画  
 ・利用者全員の以前の暮らし方を10個以上把握するために、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備し活用することで支援やプランの反映につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ・把握に繋げる実践方法の周知不足で、利用者全員の把握に繋がらずに、担当利用者のみにも留まる結果となってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7		1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	5		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	2		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・担当利用者の以前の暮らしについては概ね10個以上把握できている。  
 ・都度利用者の情報を共有し、本人のその時々状態に合わせて自立支援を意識した支援ができていた。  
 ・利用者との関りの中で少しでもいつもと違うと思われる時は、必ず職員間で共有し、必要に応じて対応の検討を行うことで即時的に対応ができています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・単純に利用者全員の以前の暮らし方を10個把握できていない。  
 ・全員の以前の暮らし方を10個何も見ずには応えられないが、アセスメントシートに記載されていることは理解している。  
 ・利用者によって関わり方にバラつきがあるため、全員満遍なく把握と言語化がなされていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ・担当に限らず職員全員が、利用者全員の「以前の暮らし方」を10個以上知って支援できるよう、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備し活用し把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外崎、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	5	1	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の暮らしに必要な地域資源について、担当が主となり情報収集と整理を行う。その上で、コロナ渦においても地域との関係が途切れないような支援に務める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスも以前に比べて落ち着きを見せ始めたため、担当が主となって収集した情報を基に、必要な地域資源を活用しながらの支援が再開できつつある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	4		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	5		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	4		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当が主となり情報収集することで、利用者、家族のことなど理解でき、支援に繋げることができている。</li> <li>通い利用することや訪問対応として病院受診や買い物などの中で、医師や店の方との関りが生まれるため地域との関係構築、継続に繋がっていると思う。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の今の暮らしに必要な地域資源や民生委員などを十分に把握できていない。</li> <li>地域資源を活用することで今の暮らしがもっと豊かになったり、本人にとっても家族になってもプラスになるといった意識での掘り起しができていない。</li> <li>全利用者の地域の民生委員の把握まで至っていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当が主となり、必要な地域資源の掘り起しが十分であるか再確認を行う。その上で、社会性を維持しながら地域の中で生活が継続できるよう支援に努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外崎、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	4	1	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に利用者、家族の意向や状況を考慮しながら、コロナ渦においても必要な地域資源を整理した上で柔軟な支援に努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスも以前に比べて落ち着きを見せ始めたため、担当が主となって収集した情報を基に、必要な地域資源を活用しながらの支援が再開できつつある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		9	4		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	5	1		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	8			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>弘前市のゴミ出しサポート事業を利用したケースもある。</li> <li>訪問薬剤管理指導や配食サービスを利用しているケースもあり、必要に応じて地域資源を活用できている。</li> <li>利用者との会話や記録、ミーティング等で通い、訪問、泊りの利用になっていなくても、状態、状況に応じて柔軟に支援できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずしも必要とは限らないが、地域資源の活用が必要最低限の活用にとまっている。</li> <li>勤務して日が浅い職員については、業務優先となり柔軟な支援まで至らなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者、家族の状況の変化に常にアンテナを張りながら、事業所として適切なサービスの提供を心掛けることはもちろん、把握している地域資源も有効活用することで更なる柔軟な対応に努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

6. 連携・協働

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	2	5	5	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター等の会議に積極的に参加し、今以上に連携を図る。また、コロナの情勢を見極めた上で、積極的に地域の活動等に参加することで、地域の一員としての役割を果たしていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の他事業所と情報交換を行い協働して地域において何かできることはないか模索したり、南部地域包括支援センター主催の会議への出席、市内の小規模多機能型居宅介護事業所間での情報交換会への出席など、地域の一員としての役割を多少なりにも果たすことができた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	1	3	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	2	7	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	1	3	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	4	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスの際に、他のサービス機関との情報交換を行うことができている。</li> <li>・花の寄贈や雑巾の寄贈などのため、地域の高校生が訪問し職員、利用者と交流する機会があった。</li> <li>・運営推進会議のメンバー (町内会長、地区民生委員、地区住民代表、南部地位包括支援センター職員、市介護福祉課職員) をはじめ、利用者家族の面会や訪問、利用を検討している本人、家族が訪れる機会があった。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の都合もあり、会議の参加や交流の機会は全職員平等に確保できずに、一部の職員に限られてしまっていた。</li> <li>・新型コロナウイルスも以前に比べて落ち着きを見せ始めているものの、積極的に地域と協働した取組みを検討するまで至らなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の会議や行事などの開催情報の収集に努め、計画的に満遍なく職員が参加することで地域の中の一員であることを実感できるように努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

7. 運営

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外崎、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	5	3	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの情勢を見極めながら、地域と協働し取組めるものを職員間で検討する。その結果、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める(前回の継続)。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催には至っていないが、隣の地区の町内会や事業所と協働して、地域住民に向けての勉強会や介護相談会などの開催に向けて動き出すことができている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	6	2	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10		1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	4	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	2	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の場で全職員が意見できるよう、発言できる雰囲気づくりを心掛けている。</li> <li>・利用者、家族からの苦情については真摯に受け止め、改善策を職員間で検討し、再発防止策を丁寧に説明することでご理解をいただいている。</li> <li>・運営推進会議で意見をいただくことはあるが、それ以外で地域の方から意見をもらうことはほぼない状況である。</li> <li>・継続してInstagramで発信したり、3ヶ月に1度パンフレットを発行して地域の施設に設置していただくことで、地域に向けて事業所の取り組みや存在をPRすることができている。</li> <li>・数としては少ないが町内会と連絡を取り合い、側溝清掃を行うことができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対利用者に専念するあまり、事業所のあり方まで考えるとできていない。</li> <li>・運営推進会議以外の場で、地域の方から意見を吸い上げる機会を確保できていない。</li> <li>・地域と協働した取組みについて検討段階であり、まだ実現に至っていない(12月実施予定)。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に向けての勉強会や介護相談会などの開催を、近隣事業所と協働して実現させることで、地域の中での存在価値を高める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	4	2	2	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においてもZ o o m等w e b上での研修参加を継続し、職員個々のスキルアップの機会を確保する。また、地域の会議の情報も収集し、感染対策を徹底した上で積極的に参加する（前回継続）。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Z o o m等w e b上での研修や現地での集合型の研修にも積極的に参加し、個々のレベルアップ、スキルアップの機会を確保することができた。また、感染対策を徹底しながら地域での会議等にも参加できている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	6		1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	4		4	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	1	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	1	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研修計画の他にも必要に応じて研修にエントリーし学ぶ機会を確保できている。外部研修で学んだことを園内研修でその他職員にも伝達することで全職員に還元することができている。</li> <li>・包括支援センター主催の研修会、小規模多機能型居宅介護事業所連絡会などに参加することができている。</li> <li>・ヒヤリハットやインシデントレポートを会議で話し合ったり、事故があった際には再発防止策を検討し職員間で共有することで再再発防止が図られている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等への出席は業務の都合上、職種や参加職員が限定的になってしまっている。</li> <li>・介護支援専門員等の資格取得に関して消極的であった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き介護支援専門員等の資格取得や各種研修参加を計画的に推進し、職員全体のスキルアップに努める。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月9日～10月19日

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、三上、蒔苗、福士、中嶋、相馬、境、外嶋、田澤 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	2		13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の芽チェックリストを活用し、職員個々のケア方法について定期的な見直しの機会を確保する。</li> <li>いざ成年後見制度が必要になった場合に備え、職員全員で学びの意識を高め学ぶ機会を設ける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期で行う身体拘束撤廃委員会や、年に一度の虐待の芽チェックリストを実施することで、職場全体はもちろん、個人としても不適切ケアがないかを見直す機会が確保されている。</li> <li>職場として成年後見制度を学ぶ機会を確保できずに、個人の学びに限定された。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4			13
②	虐待は行われていない	9	4			13
③	プライバシーが守られている	8	5			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	4	8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	6			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束撤廃委員会を開催することで定期的に再確認する機会を確保している。</li> <li>虐待の芽チェックリストの実施は、自身の言動や対応を見直す良い機会となっている。</li> <li>排泄介助や入浴介助の際のプライバシーへの配慮はもちろん、他にも職員間で意識しながら対応ができています。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>子供に言いづけるような言葉遣いや、友達に話すような口調になっていることがあり職員間で注意しあっている。</li> <li>成年後見制度に関しては必要とする利用者がおらず、積極的な学びに繋がっていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の芽チェックリストを活用し、職員個々のケア方法について定期的な振り返りの機会を設ける。</li> <li>成年後見制度について研修委員会が主となって企画し、全職員での学びの機会を確保し理解とつなげる。</li> </ul>	